

徳島市立が連覇

サッカー

（徳島スポーツレッシ）
【男子】決勝

徳島市立 1-0 徳島北

▽得点者【市】井上
徳島北・DF中道央樹

再びライバル退ける

男子決勝は徳島県総体決勝と同じ顔合わせとなり、決定力で勝る徳島市立がライバルを再び退けた。

後半4分、司令塔のMF小延の右CKに、182センチの長身DF井上が頭を合わせて先制。これが決勝点となった。自分の



主将（初優勝を逃し）「ゴール前の攻防は互角だった。ただ、セットプレーでの失点は避けられなかった。決定的な好機もあったが決めきれなかった」

決めてくれるかと思ひ、純一（井上）を信じた」と明かす。

前半は徳島北の縦パスからのサイド攻撃で後手に回る場面もあった。しかし、後半に入ると球際の強さを発揮してボールを支配。攻撃の起点となる小延の縦パスやドリブル突破などで何度も相手ゴールを脅かした。

昨年、初戦で敗退した全国総体での勝利を意欲に置くイレブン。GK山本主将は「まだミスが多い。全国大会では失点につながる致命傷となるので、無駄なミスをなくし、好機を逃さず得点したい」と反省を忘れなかった。（須見千次郎）



男子決勝・徳島市立対徳島北 後半4分、CKから徳島市立の井上④が頭で決めて先制する
（徳島スポーツレッシ）（山田旬撮影）